

	団体名	理念	目標	基本的方向	キーワード	
産	東日本旅客鉄道(株)高崎支社		①コンパクトシティ(非分散型の市街地形成)を目指す。	既存の都市機能を施設更新に合わせ、交通結節点である駅周辺に集約するとともに、今後求められる都市機能についても、駅周辺に集積を図り、コンパクトシティ形成(非分散型の市街地形成)を目指す。 ・県内各都市や首都圏、新幹線ネットワークへ接続する前橋駅を中心に、市内都市軸を構築する。 ・都市軸に沿って公共施設、集客施設(商業・文化芸術などが集う施設)の配置を進め、沿道を行き交う人の流れを創出する。 ・駅を拠点に、都市軸に沿った歩行者動線、2次交通(循環バス等)、コミュニティサイクル等を整備し、市内回遊性の向上を図る。	④コンパクトシティ	
			②都市の基幹軸(都市軸)を定め、鉄道や道路の交通軸との連携、結節強化を図ることで、両駅(前橋、中央前橋)や官庁街、都市軸に人の流れを創出し、街の再生を図る。		④公共交通網の整備	
			③ローカル駅周辺エリアの街のリノベーションを図り、良好な居住環境を整備する。駅周辺エリアに居住地域形成(団地、マンション等)の誘導を図り、市内交流人口の増加を促す。		④居住誘導	
			④周辺自治体との連携を図り、県外から訪れる交流人口を市内に誘導する。積極的な広報宣伝活動と周辺自治体と連携した観光周遊ルートの構築を行う。		②観光周遊ルート	
産	前橋農業協同組合	地域産業、稼ぐ力を高めて安定した雇用を創出する		・農業に興味を抱く若者、UIターン者へ、就農機会の拡大。また、彼らに夢を与えられるような、想像がつくような情報発信が必要 ・地域ブランド化を確立(6次産業化)し、付加価値農業と成長産業化への取り組み	①就農機会の拡大 ①地域ブランド	
産	前橋市医師会	若い世代の結婚、出産、子育て希望をかなえる。	合計特殊出生率の上昇を目指す。	コンパクトシティを目指すとするならば、最初の段階から出産、子育て支援という概念も取り入れていく。(学校の統廃合や子育て支援施設などの配置など) また希望として、結婚、出産、子育て支援など前橋市の取り組んでいる事業について市民以外にも周知し前橋市の良さを知っていただく機会を広げて頂きたい。	③合計特殊出生率 ④学校の統廃合 ④公共施設の適正配置	
学	前橋工科大学	人と科学・工学が紡ぐ21世紀の前橋の創生	○前橋のニーズをつねに把握し、教育と研究の体制をそれに応えられるように柔軟に組み立てていく ○高齢化に対応して、安心して安全に暮らすことのできる前橋を、まちづくりから医療、福祉までの幅広い分野でサポートしていく	市内、県内はもとより全国から学生が集まるよう大学の存在意義を高め、前橋地域を、学び、働き、暮らしていくのに相応しい、魅力的な場と考え、その実現に取り組む有用な人材を育成する	②大学の活性化 ②地域人材の育成	
学	群馬大学		■基本的考え方:地域活力の創出は地元住民自身による活躍が源	住民の活動が地域住民自身にとって価値(平たく言えば、利益)を生むものであること 行政は、価値を生むことを住民自身が自覚する・できるような仕掛けを作ること ①県内大学の活性化(県外・海外から教育機会を求めて流入する若年層の創出。市内の企業などでのインターンシップの充実による地域意識の涵養。企業等との共同研究・開発の拡大。) ②グローバル化に伴う留学生・外国人の増大(異文化混在・多文化共生の意識体験) ③地域の高度な産業技術力・公設機関を活かした、海外技術者の研修・再教育の場の提供(国際交流) ④交通の便の良さに基づく地域産業力の強化・充実 ⑤前橋市の文化、赤城山などの自然、田園地域・温泉などへのアクセスの良さ等、観光を介した、ひとの交流の機会、ひとの流れの創出 ⑥東京圏(東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県)と群馬・前橋の共生圏の形成 ⑦駅を基点とした、人の流れを導くまちなみの創出(駅が存在が住民の意識に与える影響は大きい) ⑧点から線、面へとまちなみをつなげる(各ブロックの特徴を明確に)	②シビックプライド	
			■人の流れの新たな創出		市民が愛着と誇り(これがしっかりとあれば、まちに活気がうまれる)をもつことができ、前橋市を一言でイメージさせるもの(キャッチフレーズ)の宣伝。「水と緑と詩のまち」? これから連想するのは、文化を軸にした静かで落ち着いたまちなみ。	②大学の活性化 ②留学生・外国人 ①地域産業力の強化 ②交流人口の増加 ④駅を基点とした街並み形成
			■前橋市のイメージ戦略の構築		文化都市として成長させる観点から、前橋の環境を活かした、企業等の研究・開発施設の誘致	②イメージ戦略
		■魅力ある前橋市の整備	①市内(県内)大学等への市内外18歳進学率の向上(留まりと流入) ②市内(県内)大学等卒業生の地元就職率の向上 ③市内大学等の卒業生の子ども市内中学校進学率の向上	高大接続事業の創出 地元学生受入大学等への支援 市内大学連携による他県への周知等の実施 大学等と産業界による地域産業人材要件の検討 大学等と行政・産業界との連携による地域人材育成事業の創出 大学等と産業界の関係強化と地元人材採用枠の創出 大学等と産業界の関係強化と地元人材採用枠の創出(再掲) 地元出身者並びにその子どもへの奨学制度の創出 大学等と行政が連携した子育て支援事業や次世代育成事業の創出	①研究・開発施設 ②地元進学 ②地元就職 ②地域人材の育成 ②奨学金制度	
官	前橋公共職業安定所	前橋に「しごと」をつくり、前橋へ「ひと」を呼び込み、「ひと」の暮らしを支える「まち」が活性化される好循環・相乗効果をつくる。	前橋に安定した雇用を創出し、若い世代も含めて、前橋に住み、働く環境を整備する。	前橋に仕事をつくり、安心して働けるようにする。(魅力ある就業の機会を創出) ・地域産業の競争力を強化(競争力のある産業分野の選定) ・企業の地方拠点を強化(企業移転・本社移転等による就労の拡大と地方採用の推進) ・優秀な人材の確保と人材育成の促進(産業集積や企業誘致等の実現には、人材の質と量が重要) ・多様な働き方の確保(若者、女性、高齢者、障害者等の活躍の推進)	①企業の地方拠点強化 ①人材確保 ①人材育成 ①若者、女性、高齢者	
				前橋への新しい人の流れをつくる。(前橋での仕事と暮らしのイメージ化) ・地方移住、UIJターンの促進(仕事、住まい、暮らしの情報をセットで提供) ・学生の地元進学の促進 ・学生の地元就職の促進(大学生、高校生の地元就職割合の向上) ・地元就職を促進するための求人確保とマッチング機会の提供(企業情報の提供、就職面接会の開催等)	②地方移住、UIJターン ②地元進学 ②地元就職	

	団体名	理念	目標	基本的方向	キーワード
官	前橋市都市計画審議会		コンパクトなまちづくり	①都心核のコンパクトシティ化 ②地域核・地域拠点のコンパクトシティ化 ③ゾーニングの明解な地域核の形成	④コンパクトなまちづくり
			美しい景観のまちづくり	居住者が自ら暮す「まち」に対し、愛着、誇りをもつことは今後の地方都市の在り方に大きな影響がある。「まち」の景観を誇りに思える街は生活する上で人々に精神的な豊かさが存在することにつながる。その魅力が、その「まち」に住みたいという人を増やすことになれば、地方都市の創生が促進する。	②愛着、誇り ④景観づくり
金	群馬銀行	前橋市の強みを生かした「しごと」を創出することで安定した雇用を確保し、若者が将来の希望を持って働ける「まち」づくりを目指す。	地域特性を活かし、安定した雇用を創出する	① 県外企業誘致の促進(本社機能、工場等) ② バックアップ拠点としての誘致促進(物流、研究機関、データセンター等) ③ 新ビジネス・新技術・新製品・新商品開発等の支援 ④ 創業・第二創業の支援 ⑤ 6次産業化の支援 ⑥ 若手経営者の育成 ⑦ 企業経営を補佐する中核人材の育成 ⑧ 専門人材派遣による既存企業の経営課題等支援 ⑨ 海外進出・事業展開支援	①企業誘致、バックアップ機能誘致 ①新製品新技術開発 ①創業 ①6次産業化 ①産業人材の育成 ①海外販路開拓
			都市の魅力を高め、新たな人の流れをつくる	① 雇用機会増加による定住人口の増加 ② 事業承継者や事業の中核的人材の誘致 ③ 首都圏からの移住促進 ④ 観光資源の活用による交流人口の増加 ⑤ 地元企業の情報提供充実等による若年層の人口流出抑制	①地元就職 ①人材の誘致 ②移住促進 ②交流人口の増加
		他の都市にない独自の魅力を持った「県都まえばし」づくり	・強み(水と緑と詩のまち)を一層磨き、弱み(中心市街地の公共交通網)をきちんと補強し、“前橋らしさ”を極める ・東京一極集中の是正等への具体的な“解決策”を提示できる「県都まえばし」づくり(本社・工場移転、ベンチャーヘブン、東京圏からのシニア・シルバー層の定住促進)	①本社工場移転 ①創業 ④公共交通網 ④中心市街地開発	
金	日本政策金融公庫前橋支店	皆が「活躍できる“まち”づくり」～住みたい、住み続けたい“まち”まえばし～		・前橋定住者、U・Iターン、シニア・シルバー層の移住、群馬都民、外国人等や多様な人たちが安心して働ける場所の創出(創業・再チャレンジ支援、女性活躍推進、高齢者雇用、地元特産物ブランドを中心とする農業支援) ・移住・定住を促進させるために、中心市街地の公共交通網を整備し、魅力を感じる中心市街地開発、教育・医療・介護施設の充実を加速化させ、積極的に情報を発信	①農業支援 ②Uターン ②群馬都民 ②外国人 ④シニアシルバー層の定住促進
			県都として機能＝“つなぐ”	・群馬県の中心地としての県内市町村の情報発信機能(前橋から全国へ情報発信)→観光・文化・ビジネス・農畜産物流通・情報の拠点 ・全国展開組織も含めた地元ネットワークによる支援(前橋市に本店機能が集中)	②情報発信
金	群馬県信用保証協会		前橋市の特性に合った産業経済の活性化を図り、安定した雇用を創出する。	開廃業率の逆転減少が続き、企業数が減少を続けている中、創業、イノベーション、事業承継等を積極的に後押しする。前橋市の地域特性を分析し(ハイレベルなものづくり産業。メガネ、豆腐、カラオケ、ウクレレ等の分野で日本を代表する企業が存在。赤城山や萩原朔太郎、絹遺産、豚肉料理など、自然、文学、歴史、食が充実。)、付加価値の高い産業を創出する。これらの施策による産業経済の発展と一体となり、魅力ある職場づくりと労働環境整備を図り、多くの市民が安定して働けるまちをつくる。	①創業 ①イノベーション ①事業継承 ①付加価値型産業 ①労働環境
			「水と緑と詩のまち」ならではの地域ブランドを確立し、新しいひとの流れをつくる。	自然、文化、食に恵まれた「水と緑と詩のまち」にある優れたコンテンツを上手にブランディング及びパッケージ化して、住民が地域に愛着と自信を持つことを推進する。地域ブランド力とポスピタリティの向上を図り、U・I・Jターンの希望者にとって魅力的なまちとなり、転出者の減少と転入者の増加を実現する。	②地域ブランド ②ホスピタリティ ②シビックプライド
			ワークライフバランスの実現により、若い世代が安心して結婚・出産・子育てをできるようにする。	男女ともに働きながら、結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、労働環境を整備し、雇用水準を高め、仕事と家庭(生活)の調和を実現する。子育てに対する各種サポートを充実させ、負担と不安を解消する。離婚率の高まりにより子供にしわ寄せがある中、再婚支援による家庭の再生を図る。	③労働環境の整備 ③ワークライフバランス ③再婚支援
			子供からお年寄りまで、心豊かにくらししていけるまちをつくる。	市役所周辺を含む中心市街地のコンパクト・シティ化を推進する。中山間地域においては、ワンストップ・サービスが可能となる小さな拠点を配置するとともに、買物難民対策を進める。公共交通網を整備して、交通弱者にとっても住みやすく訪れやすいまちをつくる。	④コンパクトシティ ④公共交通網
				産業、自然、文化、食などの分野で前橋ならではの特徴・特性・名物であるコンテンツをていねいに拾い上げ、「コト消費」や「地域ストーリー」の観点からブランディング及びパッケージ化して、市の内外に示すことができれば、住民にとっては郷土への愛着と誇りを育み、市外の方に対してはブランド力と観光の面でアピールできる。また、産業経済の活性化にもつなげることができる。	②ブランド戦略 ②郷土愛
労	連合群馬	全ての県民が安心して暮らせる地域社会の実現	我々は勤めが終わり、地域に戻れば生活者になる。生活を営む地域に活力があれば、ゆとり・豊かさを生み出すことができる。		生活者 豊かさ
言	上毛新聞社		もともと前橋は絹のまちで世界的に名を馳せた都市。起業家、気鋭の精神、ベンチャー、イノベーションといった前橋の売りを、わかりやすくキャッチフレーズで伝えることが重要。	前橋に行けば金融のプロがいたり、法律のプロがいたり、あるいは投資家がいたりするような、起業家を中心としたエコシステム構築を検討したらどうか。イノベーションの地シリコンバレーでは、既にそうしたシステムができています。	キャッチフレーズ ワンストップサービス